

がんばる
皆さんを応援!

(有)新生製作所

有限会社新生製作所は、昭和44年に創業(同48年設立)し、建築物に用いる鉄柱や手すりなど鉄製品全般を扱ってきました。現在も富山を中心にらせん階段や手すりなどの鋼製品を製造・販売するほか、

2020年東京五輪・パラリンピックが開催される新国立競技場の手すりも作っています。社長の馬場靖也さんにお話を伺いました。

ものづくりへのこだわり

創業者は、父の正文さんです。馬場さんは2代目として会社に入り、平成16年、39歳の時に社長になりました。代が替わっても「他業種展開はしない」という方針を貫き、「ものづくり」にこだわってきました。どんな精密な図面でも指示通りに製作することは案外難しい作業ですが、馬場さんは、お客様のどんな要望にも応えるべく、努力と工夫を続けてきました。「お客様は簡単では



▲製作所内の様子

ない依頼にお断りすることなく対応していくうちに当社のスキルが上達し、他社がギブアップした難しい依頼にも対応できるようになりました。そうやって今日まで歩んできた結果、信用が生まれたのではないかと思います。お客様に喜んでいただけたことが何よりうれしいです」

鉄は加工の自由度が高い

製品についても時代に沿ってきました。平成10年頃からは、スチール製品としてのゴミステーションの製造も手掛けるようになったそうで、これは設置場所などに

応じて全部オーダーです。また、スチール階段や手すりなどの需要も増えていきます。純粋



▲特殊な製作の要望にも応える新生製作所の製品



な和風建築が少なくなったこと、高気密高断熱になったことで、リビング階段が一般的になり、吹き抜けなど、より自由な設計が増えました。階段やスロープの手すりに鉄を使うと、締まった印象を与えて人気が高いそうです。

らせん階段をPRしたい

数年前に南青山にある店舗のらせん階段を作りました。何と、高さ4.5メートルのらせん階段を富山から運んだそうです。しかも、入り口が狭かったので、真ん中で一旦切って運び入れ、店内で溶接しました。鉄だからこそ、こんなことができるのです。新生製作所は平成29年に富山商工会議所の支援を受け、国の「小規模事業者持続化補助金」を受け、らせん階段をPRするためのホームページとチラシを作りました。

「らせん階段は省スペースになり、建物の中にあると楽しい空間を作り



▲生活を素敵に演出するらせん階段

出すことができます。もし、家の中にらせん階段があつたら、子供がくるくる回りながら上がった降りたりするので、生活に『ワクワク』を提供します」

ヨーロッパなどを旅すると、素晴らしい建築の手すりや階段に自ずと目が行くとか。長年、鉄と向き合ってきたからこそ分かることも多く、ニーズに合わせていろんな提案をしていくことに生きがいを感じておられます。

「新国立競技場が完成したら、社員全員で是非見てきたいです」

2020年東京五輪・パラリンピックに向けて腕まくりですね。新生製作所を当所はこれからも応援していきます!



▲新生製作所の事業所・製作所

有限会社新生製作所

主な事業内容

地鉄骨工事 鋼構造物製作
鋼製階段・手摺設計施工
(スチール・ステンレス)
鋼製カーポート設計施工
鋼製品製作取り付け
(作業棚・各種製品ラック・スロープ・溝蓋)
ゴミステーション設計施工

富山市一本木117-1
☎076-451-7247
http://shinsei-ironworks.co.jp